



# 千葉家畜市場レポート



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、年の瀬迫る令和4年の12月26日にこの年最後となる千葉家畜市場のスマール市場にお邪魔してきました。本号では、熱気あふれる千葉家畜市場の様子と令和4年の当団の体外受精卵の産子の成績をお届けいたします。さらに、千葉家畜市場にて多くのスマールを取引されている(株)マルニトータルサービスで伺ったお話も合わせてご紹介いたします。

## 千葉家畜市場について

千葉県千葉市に位置する千葉家畜市場 (<http://www.chiba-kachiku.com/>、以下、千葉市場) は千葉県家畜商協同組合により開設され、千葉県を主として茨城県など県外からも上場される牛を取り扱っています。市場では成牛と子牛、スマールの取引が行われ、成牛と子牛のセリは基本的に毎月2のつく日(2日、12日、22日)、スマールのセリは毎月8のつく日(8日、18日、28日)に開催されています。(今回は年末のため26日にスマール市場が開催となりました。)



スマール市場では主に生後30~80日の子牛が上場されています。セリ場は牛を取り囲むように椅子が設置してあり、360度どの角度からでも牛を観察することができるようになっています。

この日は、黒毛和種81頭、ホルスタイン種97頭、交雑種400頭が上場されました。黒毛和種81頭の内、当センターが生産した体外受精卵で生産された子牛は13頭でした。

## スマール市場情報

スマール市場では、令和4年1月から12月までに18,869頭の子牛が取引され、その内13,359頭が交雑種でした(表1)(市場HPより引用)。全国でも有数の酪農県である千葉県では、やはり交雑種の取引が全体の7割を占めました。また表2(裏面)には、直近3か月の当団の体外受精卵産子の市場成績をまとめました。当団の体外受精卵産子は、10月から12月の計9回のスマール市場で96頭上場されました。雄と雌を合わせた平均日齢は72.8日、平均価格は税込み369,955円でした。令和3年の体外受精卵産子の取引は202頭でしたが、令和4年は303頭の取引がありプラス101頭と大幅に増加し、千葉県内でも体外受精卵の利用が増えていることが窺えます。

表1 千葉家畜市場スマール市場成績(市場HPより引用)\*

品種	性別	成立頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)
黒毛和種	雄	1,258	470,646	821,700	45,100
	雌	787	399,188	928,400	4,400
交雑種	雄	6,913	184,048	418,000	3,300
	雌	6,446	157,119	343,200	1,100
計		18,869	184,785	928,400	1,100

\* 価格は消費税込み



福之姫の体外受精卵産子  
価格は税込み482,900円でした!

## 種雄牛ごとの成績

令和4年10月から12月にスマール市場で取引された当団の体外受精卵産子における種雄牛ごとの内訳を表3(裏面)にまとめました。最も取引されたのは茂晴花43頭、次いで福之姫18頭、愛之国11頭でした。平均価格は福之姫が最も高く443,728円、最高価格も653,400円とトップの成績でした。

表 2 当団体外受精卵産子成績\*\*

	10月		11月		12月		計
	雄	雌	雄	雌	雄	雌	
成立頭数(頭)	28	5	33	2	27	1	96
平均日齢(日)	72.8	72.2	73.2	77.0	72.3	69.0	72.8
平均価格(円)	391,954	394,240	361,300	294,250	364,181	225,500	369,955
最高価格(円)	523,600	466,400	543,400	300,300	653,400	225,500	653,400
最低価格(円)	58,300	321,200	181,500	288,200	45,100	225,500	45,100

表 3 種雄牛別受精卵産子成績\*\*

父	成立頭数(頭)	平均日齢(日)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)
茂晴花	43	73.1	350,465	471,900	58,300
福之姫	18	71.7	443,728	653,400	225,500
愛之国	11	75.7	373,100	523,600	187,000
美津照重	10	72.8	330,550	429,000	45,100
幸忠栄	7	73.1	421,614	543,400	257,400
美津金幸	7	68.6	299,671	427,900	158,400
総計	96	72.8	369,955	653,400	45,100

\*\*家畜バイテクセンター集計、価格は消費税込み

次に、千葉家畜市場にて年間 3,000 頭程のスマール（黒毛和種、交雑種）を購入している（株）マルニトータルサービス（千葉県旭市）の岩淵社長に市場についてのお話を伺いましたので一部ご紹介します。

### 事業概要

（株）マルニトータルサービスは酪農家から預かった子牛を市場にて販売し、再び肥育農家のニーズに合わせて子牛を購入して肥育農家に引き渡す個体売買の事業を行っています。個体取引の他にも、牧場の経営や初妊牛の売買なども行っています。

### 千葉家畜市場で購入されている体外受精卵産子

家畜改良事業団から販売されている体外受精卵の産子は、血統情報が父または母の父までしか表示されていません。岩淵社長は市場で牛を選ぶ際、体外受精卵産子は血統情報に左右されることなく本牛の姿と形で牛を選ぶことができるとおっしゃっていました。また、スマール市場では素牛ほど農家の手が加わっていないため牛個体のポテンシャルを見ることができ、出荷時の仕上がり具合を想像しやすいそうです。福之姫を父に持つ子牛に限っては、血統にかかわらず肉質や枝肉重量の成績が良いため、あまり迷うことが無く購入できるとおっしゃっていました。自社で肥育する牛も福之姫産子を中心に揃えているそうです。



(株) マルニトータルサービス  
岩淵社長

### 今後の千葉家畜市場について

従来、1回のセリで上場される黒毛和種は 30 頭程度でしたが、最近では 60 頭程が上場されるようになり、今後は 100 頭規模になってくるのではとのことでした。千葉家畜市場に黒毛和種が増えてくることで購買者が増える可能性があり、それに伴って市場がさらに活性化すると岩淵社長はおっしゃっていました。

本号では、千葉家畜市場での体外受精卵産子についてお届けしました。家畜バイテクセンターでは、子牛を生産する皆様の一助となるよう体外受精卵の品質向上に努めてまいります。



バイテクセンター  
HP はコチラから



<http://liaj.or.jp/ivf>